

平成 25 年 11 月 7 日

山崎捷子

## 報告書

平成 25 年 8 月 22 日（木）より 24 日（土）まで  
国立女性教育会館主催 主題「女性の活躍で日本を元気に」  
男女共同参画推進フォーラムに参加した。

22 日 13 時からの開会行事に引き続き、  
基調講演は ㈱東レ経営研究所特別顧問 佐々木恒夫氏「女性の活躍推進と社会の活性化」について、家族の介護を抱えながら、定時退社を実行し、会社全体を残業のない職場に変えた実践事例を話された。

15 時 30 分からは各ワークショップがあった。山崎が参加した主なものは福島県男女共生センター主催「福島原発事故と女性」でセンター長の千葉 子氏と会津大学短期大学部 戸田紀雄氏の学生ボランティアの実践とアンケートで、その後、フロアから国女振福島県支部の高橋英子さんから現状と課題を報告。これは前 2 年国際女性教育振興会主催で行われていたが、今期から福島県として毎年発信していく必要があるだろうと、山崎が共生センターの千葉館長に相談し、実現した。

国際女性の地位協会主催「国連女性差別撤廃委員会から」ということで 2009 年に審議された日本レポートに対して、政府や国連の委員会はどうな動きをしているかなどの発表があった。

国際女性教育振興会主催の「海外から学ぶ」はフランスとスウェーデン視察に参加した会員の報告であった

22 日の夜はヌエックの委員による情報交換会があり、福島県から山崎と星が出席した。ヌエックは今見直しによってどうなるか予断を許さない状況なので、みんなで支援体制を強化していくことを確認した。

23 日夜は恒例の交流会で参加者全員による立食パーティで全国の女性団体や行政担当者と交流ができた。本会は北海道から多くの方が参加していた。福島県としては災害に負けず、がんばっているというメッセージを送った。

以上

「平成25年度男女共同参画推進フォーラム」への研修参加事業

会津若松市協働参画の会

収支決算書

( 収入 )

市補助金	5,000 円
自己負担金	10,080 円
合計	15,080 円

( 支出 ) 交通費

乗車料金	5,020 円×往復 = 10,040 円
特別料金	2,520 円×往復 = 5,040 円
合計	15,080 円